

学習材の内容構成と製作の手順

文責： B070808 大坂遊

レジュメの構成

- (1)学習剤のタイトルと全体の目次
- (2)各グループのタイトルと構成
- (3)学習材の見開きレイアウトの構成
- (4)書き込み用の見開きレイアウト

(1)学習材のタイトルと全体の目次

学習材タイトル「『都市の見方』がわかる福岡県の学習」

目次

0. はじめに	2～3
1. 地域の「首都」として機能するまちづくりー福岡市ー	4～9
2. 大都市と密接に結び付くまちづくりー春日市ー	10～15
3. 地場産業に支えられたまちづくりー苅田町ー	16～21
4. 環境と産業を両立させたまちづくりー北九州市ー	22～27
5. おわりに	28～29

出典一覧

※「はじめに」

見開き1ページ。左ページで導入、タイトルは「福岡県をながめて」。右ページに地図や写真を。課題テーマは「クローズアップ『千早』」。

※「おわりに」

未定。「はじめに」とおなじ形式にする？

(2)各グループのタイトルと構成

凡例

グループ 取り扱う都市 取り扱う都市の性格
「タイトル」

①取り扱う都市はどのような性格を持ち、どのように変わってきたか
都市の歴史と都市の性格。

→日常との接点を持たせるため、「文章」部分は会話形式で書く。

②取り扱う都市はなぜそのような変わってきたか

都市の性格が形成された背景

→地域を捉える理論的枠組みを示すため、「資料」部分にモデル図を載せる。

③取り扱う都市はどんな課題に直面し、どのように乗り越えようとしているか

都市の課題と今後の展望

→生の声を教材化するため、「資料」部分にインタビューを入れる。

価値の対立を認識させるため、2つのインタビューが並立する形式にする。

A 福岡市 地方中枢都市

「福岡市－地域の『首都』として機能するまちづくり－」

- ①福岡市はどのような性格を持ち、どのように変わってきたか
政令指定都市、福岡県内・九州内の政治的地位、行政機能の集中
- ②福岡市はなぜそのように変わったのか
行政・経済機能が集中した歴史的背景、北九州との比較
- ③福岡市はどんな課題に直面し、どのように乗り越えようとしているか
福岡県や九州地方の「中心」としての機能のさらなる発展、行政機能の分散を望む声？
→「九州州」の「州都」としての可能性？

B 春日市 ベッドタウン

「春日市－大都市と密接に結び付くまちづくり－」

- ① 春日市はどのような性格を持ち、どのように変わってきたか
人口密集地域、昼夜間人口比率
- ② 春日市はなぜそのように変わってきたか
福岡市の通勤圏、交通網の発達、都市計画
- ③ 春日市はどんな課題に直面し、どのように乗り越えようとしているか
人口過密、ベッドタウンの高齢化？、自立的経済圏の確立？

C 苅田町 産業都市

「苅田町－地場産業に支えられたまちづくり－」

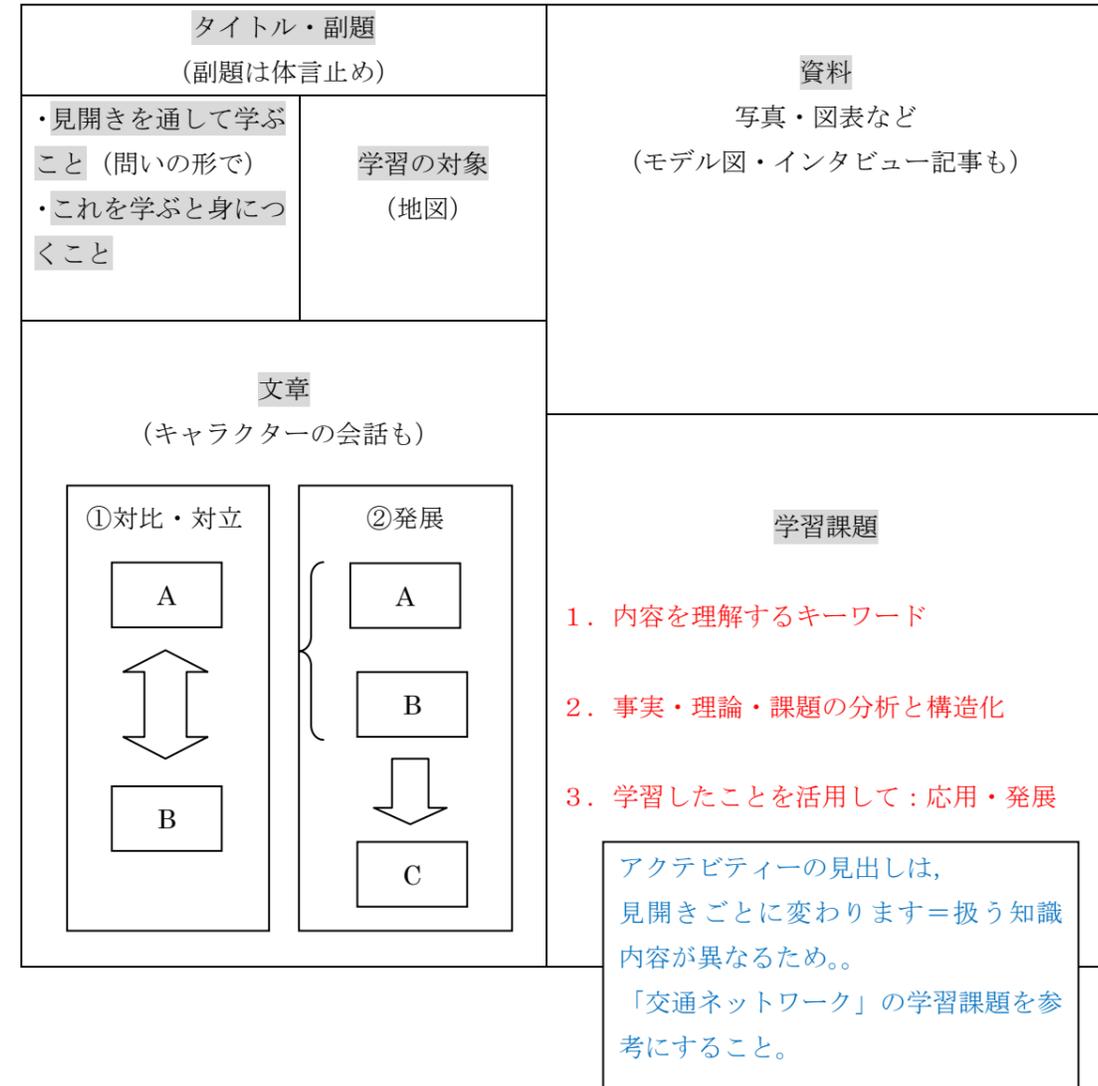
- ① 苅田町はどのような性格を持ち、どのように変わってきたか
臨海工業都市、企業城下町
- ② 苅田町はなぜそのように変わってきたか
自動車産業の発展、港湾都市としての強み
- ③ 苅田町はどんな課題に直面し、どのように乗り越えようとしているか
産業の空洞化、他地域・他国との競合

D 北九州市 環境都市

「北九州市－環境と産業を両立させたまちづくり－」

- ① 北九州市はどのような性格を持ち、どのように変わってきたか
北九州工業地帯の中心、環境に配慮した街づくり
- ② 北九州市なぜそのように変わったのか
市町村合併、工業都市としての発展、「八幡製鉄所」の発展、公害対策技術の蓄積
- ③ 北九州市はどんな課題に直面し、どのように乗り越えようとしているか
公害問題への対応、工業地区の再開発、「環境首都」としての取り組み

(3)学習材の見開きレイアウトの構成



(4)書き込み用の見開きレイアウト

(タイトル・副題)		(資料)
【見開きを通して学ぶこと】	【学習の対象】	
【これを学ぶと身につくこと】		
(文章)		【学習課題】 1. 2. 3.

